



皮膚割線と皮膚組織の関係について

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2013-08-27 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 並川, 有隣, 茂木, 克俊, 酒井, 恒, 岡, 達 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10271/1768

157

皮膚割線と皮膚組織の関係について

並川 有隣・茂木 克俊（浜松医大口外）
 酒井 恒（名古屋大第1解剖）
 岡 達（名古屋大口外）

われわれは第62次日本法医学会総会において、人死体に皮膚割線を発現させ、その走向について報告したが、今回は皮膚割線と皮膚諸組織との関係について組織学的検索を行ない、若干の知見を得たので報告する。

材料は、第62次日本法医学会総会において報告した例につき、その皮膚を約15mm×15mmの大きさに切除し、マッソン・ゴールドナー染色を行なって観察した。

対象とした部位は、①皮膚割線が男女ともにはっきりと表出されている部位（下腹部）
 ②皮膚割線の走向が男女ともに線状とならず、分枝状となるか、又は割線と割線が合流するようにみえる部位（右乳房部）
 ③皮膚割線の走向に男女間の相異がみられる部位（胸骨部）とし、今回は皮膚表面に平行な断面について観察した。

結果

① 下腹部 男女ともに、真皮の膠原線維は、種々の程度の彎曲や蛇行を示し、また、たがいに交叉するものも認められる。表皮直下においては膠原線維

ははなはだ弱く、割線はその方向に一致しない部分もある。また、汗腺、皮脂腺、血管等が存在する深さでは、それらを取り巻くように走向するが、その長軸は膠原線維の長軸に沿うものが多い。

従って皮膚割線の走向は膠原線維の方向に一致してほぼ直線状となる。

② 右乳房部 男女ともに、膠原線維の走向に規則性は認められず、汗腺、皮脂腺、血管等の間隙を分散して走向している。

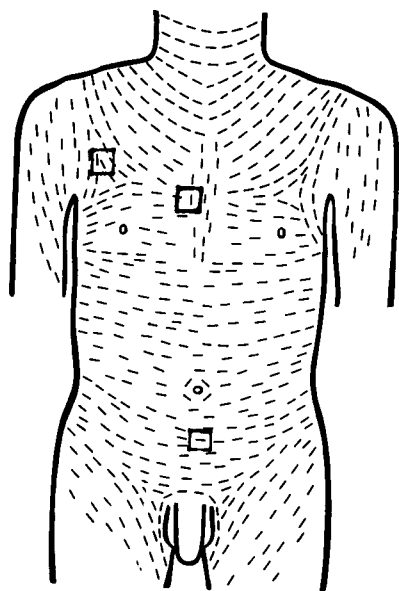
従って皮膚割線の走向は分枝状を示す。

③ 胸骨部 男では、膠原線維は規則的な配列は示さず、各種方向に走向する線維が、汗腺、皮脂腺、血管等の間隙をみたして走向している。

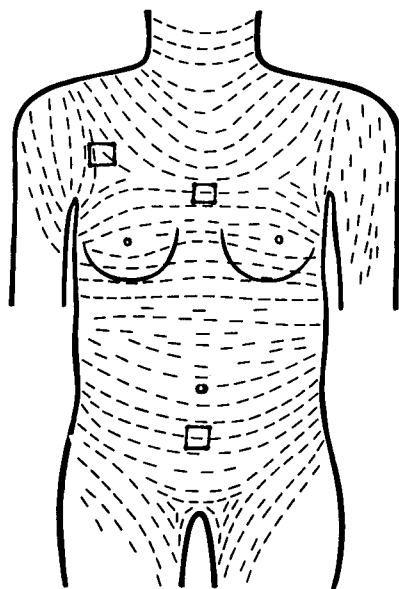
従って皮膚割線の走向は分枝状を示す。

女では、膠原線維は種々の程度の彎曲、蛇行を示し、たがいに交叉しているが、男のそれと比べて全体としてある方向性を示す。

従って皮膚割線の走向は膠原線維の走向に一致して、多少の屈曲を示すもの、また、分枝するもの等、部位による特徴が明らかに認められる。



男の皮膚割線合成図と皮膚採取部位



女の皮膚割線合成図と皮膚採取部位